

Injury Alert (傷害速報)類似事例

抱っこ紐からの転落による頭部外傷 (No.41 抱っこ紐からの転落による頭部外傷の類似事例 8)

事例	基本情報	年齢 0歳 2か月 性別 男児 体重 6.13kg 身長 59.5cm
	家族構成	父、母と3人暮らし
	発達・既往歴	特記事項なし 受傷時は未定額
臨床診断名		右頭頂骨骨折
医療費		入院 240,080円 外来 2,240円
原因対象	対象名称	抱っこ紐(縦抱き) 定額前の児には、専用インサートの装着が必要なタイプ
	入手経路 使用状況	新品を販売店で購入 インサートについては購入時に特段説明されなかったため、使用していなかった
発生状況	発生場所	スーパーの駐車場
	周囲の人 周囲の環境	母が児を抱っこ紐で抱きながら買い物を終え、車に戻るまでの間に発生した。他に一緒にいた人はいなかった。
	発生年月日	2020年8月X日(火) 午後1時00分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	母が児を抱っこ紐で胸元に縦抱きしながら、スーパーで買い物をした。その後、両手に荷物を持った状態で駐車場内を歩いていた際に、児が抱っこ紐の右側からすり抜けるように墜落した。この際、かがむなどといった特別な動作や誘因はなかった。頭を打ったため心配になり、受傷後直ちに医療機関Aへ救急搬送された。

<p>医療機関受診時以降の治療経過 転帰</p>	<p>医療機関 A で頭部 CT を撮影され、右頭頂骨骨折が認められた。母の語った受傷機転（頭の前方をぶつけた）と矛盾する所見であったことから虐待の可能性も懸念され、医療機関 B へ紹介された。</p> <p>医療機関 B へ転院時（受傷後約 3 時間）、児の意識は清明で、四肢の動きに左右差を認めず、バイタルサインは正常であった。右頭頂部に 5cm 程度の皮下血腫を認めた。体表面に明らかな打撲痕はなかった。頭部 CT を再検し、右頭頂骨骨折以外に異常所見がないことを確認した。経過観察目的で入院とした。</p> <p>なお、入院後に両親と面談を行ったが、虐待の可能性は低いと考えられた。神経症状の出現なく経過し、全身状態良好のため X +3 日に退院した。退院から 1 週間後、1 か月後、3 か月後に外来で経過を確認し、全身状態に問題なく終診となった。</p>
<p>キーワード</p>	<p>抱っこ紐、墜落、頭部外傷</p>

Injury Alert (傷害速報)類似事例

抱っこ紐からの転落による頭部外傷 (No.41 抱っこ紐からの転落による頭部外傷の類似事例 9)

事例	基本情報	年齢：0歳2か月 性別：女児 身長・体重：受診時計測せず不明
	家族構成	父、母、姉(2歳)
	発達・既往歴	周産期歴：38週6日、2,966gで出生 受傷時は未定額
臨床診断名		両側頭頂骨骨折、硬膜外血腫
医療費		入院 239,530円 外来 2,240円
原因対象	対象名称	抱っこ紐(縦抱き、ヒップシート付き)
	入手経路 使用状況	知人から譲り受けたもので、姉の時から使用していた。 新生児期から使用可能と聞いていたので毎日使用していたが、補助具の有無や必要性については認識していなかった
発生状況	発生場所	買い物中の店内
	周囲の人 周囲の環境	母が児を抱っこ紐で抱き、一人で買い物していた。背中にリュックを背負っていた。
	発生年月日	2020年9月X日(火) 午後2時30分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	買い物中、抱っこ紐の中で児が丸まっているのに気づかず、母が背中に手を回してリュックの中の物を取ろうとした際、児が抱っこ紐と母の体の隙間(右側)から墜落した。児は直後に啼泣したが、頭頂部に発赤を認めた。一旦帰宅し、午後3時頃にミルクを飲ませたが、飲みがいつもより悪かった。心配になり、午後4時頃医療機関Aを受診した。

<p>医療機関受診時以降の治療経過 転帰</p>	<p>医療機関 A 受診時、児の機嫌は良く、顔色良好で大泉門は平坦であった。頭蓋骨 X 線および頭部 CT 検査で、両側頭頂骨骨折と、左頭頂円蓋部に高吸収域が認められた。入院経過観察目的に医療機関 B へ紹介され、転院搬送された。</p> <p>医療機関 B へ搬送時（受傷後約 3 時間）、児の意識は清明で、四肢の動きに左右差を認めず、バイタルサインは正常であった。頭頂部から両側側頭部にかけてやや境界不明瞭に広がる、6cm 程度の柔らかい皮下血腫を認めた。体表面に明らかな打撲痕はなかった。頭部 CT では、左頭頂骨の骨折箇所直下に凸レンズ状の高吸収域を認め、硬膜外血腫の可能性が高いと考えられた。神経症状の出現に注意しながら経過観察した。神経症状の出現なく経過し、全身状態良好のため X+3 日に退院した。退院から 1 週間後、1 か月後、3 か月後に外来で経過を確認し、全身状態に問題なく終診となった。</p>
<p>キーワード</p>	<p>抱っこ紐、墜落、頭部外傷</p>

Injury Alert (傷害速報)類似事例

抱っこ紐からの転落による頭部外傷 (No.41 抱っこ紐からの転落による頭部外傷の類似事例 10)

事例	基本情報	年齢：0歳3か月 性別：女児 体重：4.39kg 身長：52.5cm
	家族構成	父、母、兄(3歳)
	発達・既往歴	周産期歴：36週4日、1,740gで出生 低出生体重児のため、約1か月間NICU入院 受傷時は未定額
臨床診断名		左頭頂骨骨折
医療費		入院 328,090円 外来 1,120円
原因対象	対象名称	抱っこ紐(縦抱き) 児と抱っこ紐をつなぎ止めるためのウエストベルト付き
	入手経路 使用状況	新品 生後2か月頃より、兄の送迎時などほぼ毎日使用していた
発生状況	発生場所	自宅の玄関
	周囲の人 周囲の環境	母が児を抱っこして帰宅した直後であり、周囲には他に誰もいなかった
	発生年月日	2020年10月X日(水) 午後4時30分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	上記時刻に、本児の予防接種から帰宅した。自宅の玄関に入ってから、玄関外に置いていた自転車のカバーに母が右手を伸ばしたところ、抱っこ紐と母の体の隙間(右側)から児の頭が出てきてしまい、そのまま墜落した。児ははじめ驚いて止まった様子であったが、すぐに啼泣した。医療機関Aの小児科を受診した。 なお、同日は初めて抱っこ紐に付属しているウエストベルトをつけずに抱っこしていた(以前、兄を別の抱っこ紐でウエストベルトをつけず使用して問題なかった経験があったため)。

<p>医療機関受診時以降の治療経過 転帰</p>	<p>医療機関 A から脳神経外科医院 B へ紹介となり、頭部 CT 検査を施行された。左頭頂骨骨折を疑われ、医療機関 C へ紹介された。紹介受診時（受傷後約 3 時間）、児の意識は清明で、四肢の動きに左右差を認めず、バイタルサインは正常であった。左頭頂部に皮下血腫を認めた。体表面に明らかな打撲痕はなかった。経過観察目的で入院とした。神経症状の出現なく経過し、全身状態良好のため X+4 日に退院した。退院から 1 週間後、1 か月後、3 か月後に外来で経過を確認し、全身状態に問題なく終診となった。</p> <p>なお、退院後はウエストベルトを必ずつけて使用しているとのこと。</p>
<p>キーワード</p>	<p>抱っこ紐、墜落、頭部外傷</p>